



# 世界を、動かす。

食料、衣料、医薬品、自動車、石油、ガス、鉄鉱石、木材。  
社会が呼吸を続けるために  
必要不可欠なあらゆる物資をお届けする。  
海上輸送は世界の血流を支える大動脈です。  
そこに人々の営みが続く限り、世界を動かし続ける。  
それが私たちの誇りと覚悟です。



## Mission

私たちが果たすべき使命

### 商船三井グループ企業理念

①

顧客のニーズと時代の要請を先取りする  
総合輸送グループとして世界経済の発展に貢献します

②

社会規範と企業倫理に則った、透明性の高い経営を行ない、  
知的創造と効率性を徹底的に追求し  
企業価値を高めることを目指します

③

安全運航を徹底し、海洋・地球環境の保全に努めます

## Vision

私たちの目指す姿

### 長期ビジョン

世界の海運をリードする強くしなやかな  
商船三井グループを目指す

## Values

日々の業務遂行、判断にあたって拠り所となる価値観



- C**hallenge ■ 大局観をもって、未来を創造します
- H**onesty ■ 正道を歩みます
- A**ccountability ■ 「自律自責」で物事に取り組みます
- R**eliability ■ お客様の信頼に応えます
- T**eamwork ■ 強い組織を作ります

## Contents

### Our Vision, Our Value

- 04 社長メッセージ
- 10 価値創造の歴史
- 12 価値創造モデル
- 14 価値創造の成果

### For Our Sustainable Growth

- 16 持続的な企業価値向上に向けたあゆみ
- 18 「ローリングプラン2020」の概要
- 22 セグメント別事業概況
- 29 マーケットポジション(船隊規模)
- 30 リスク管理
- 32 CFOメッセージ
- 34 Special Feature  
特集:「商船三井の環境・エミッションフリー事業」
- 38 チーフエンバイロメント・サステナビリティ  
オフィサー(CESO)メッセージ
- 40 サステナビリティ課題(マテリアリティ)の全体像
  - 42 輸送を通じた付加価値の提供
  - 46 海洋・地球環境の保全
  - 50 海の技術を進化させるイノベーション
  - 52 地域社会の発展と人材育成
- 56 コーポレートガバナンス鼎談
- 60 取締役・監査役・執行役員
- 63 コーポレートガバナンス
- 68 コンプライアンス
- 69 社会的責任

### Data Section

- 70 11カ年サマリー
- 72 MOL Group's Global Network
- 73 情報開示と社外からの評価
- 74 用語集
- 75 株主情報

本冊子中に記載されている下線の用語については、巻末の用語集をご参照ください。

### 商船三井のコミュニケーションツール

当社では、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを促進するためのツールとして、下記の冊子を発行しています。最新版は当社Webサイトよりご覧いただけます。  
<https://www.mol.co.jp/ir/>

- MOLレポート
- インベスターガイドブック
- マーケット・データ

### 報告対象範囲

(株)商船三井、連結子会社368社、持分法適用関連会社103社、及びその他関係会社(活動やデータについて対象を限定する場合は、レポート中に注記しています)

\* 本報告書中の「当社」とは(株)商船三井を指しています。

### 参照したガイドライン

- 国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創ガイドランス」



### 価値共創ガイドランス各項目からの逆引きインデックス

1. 価値観
● P2、P4~9、P38~39
2. ビジネスモデル
● P4~9、P12~13、P16~29、P34~37、P72
3. 持続可能性・成長性
● P4~13、P16~28、P30~55、P68、P69
4. 戦略
● P4~9、P16~28、P32~37、P40~55
5. 成果(パフォーマンス)と重要な成果指標(KPI)
● P14~15、P32~33、P70~71
6. ガバナンス
● P56~67

### 見直しに関する注意事項

このレポートには、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点\*で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見込みです。また経済動向、海運業界における激しい競争、市場需要、燃料価格、為替レート、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでいます。このため実際の業績は当社の見込みとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

\* 特にことわりがない限り2020年9月時点